

# 地域の方のために

## 夏まつり

〈今年も夏まつりが開催されました〉

7月28日、恒例の夏まつりが今年も開催されました。入所者様やお手伝いいただいた学生ボランティアさんをはじめ、周辺にお住いの方々や子どもたちにもご参加いただき、とてもにぎやかな夏まつりになりました。人気の屋台コーナーでは、チラシ寿司や焼きそば、たこ焼きなどの他、チョコバナナなども加わり、おまつり気分を盛り上げました。入所者様と地域の方々との触れ合う大切な機会ですので、これからも趣向を凝らして続けていきたいと思っています。



地域の方々との交流で、ぼ一愛スタッフが港島夏まつりに参加しました。



## フットケア

〈正しい歩行に、フットケアは大切〉



一人ではケアしにくい、分厚くなってしまった爪や巻き爪、伸びすぎてしまった爪も丁寧に手入れいたします。



ぼ一愛では、早くから健康的な歩行にはフットケアが欠かせないということで、爪のメンテナンスをしてくださるフットマイスター協会の先生に來所して頂いています。最近では、スポーツの世界でも爪のケアが注目され、アスリートのためのネイル協会も発足するほど。足の爪は、体を支えるとても大切なものです。正しいフットケアを受けることで、痛みが軽減され、歩行姿勢がよくなるという報告があります。また、肩こり、腰痛、膝の痛みの軽減にも、ご家族の方もご利用いただけます。ぜひ一度おためしください。

- 毎月第2火曜日、第4木曜日 10時～16時
- 所要時間20分 ● 2,500円



## 楽しくお散歩をしています

お天気の良い日は、できるだけお散歩に出かけるよう心がけています。ぼ一愛の施設の周辺は、街路樹が整備されていたり、高校のグラウンドがあったりするので、街路樹で季節の移り変わりを感じたり、スポーツをする子どもたちの声を聞いているだけでも気分がいいものです。施設の中にも中庭があり、そのなかを散歩したりもします。四季折々に咲く花を手にとりて見たり、蕾から花が咲くまでを待ち遠しく待ったりするのも楽しい時間です。一緒に周辺散歩をしていると、おしゃべりが多くなったり、表情が豊かになったりすることも珍しいことではありません。転倒や疲労には十分注意する必要がありますが、お決ま

りの散歩コースを作ることで脳への適度な刺激となり認知症の予防や進行の防止になると言われています。散歩をしながら聞かせてくださるいろんな思い出話なども楽しく聞かせてもらっています。



## 最新式の介護浴槽を導入しました

「皆さんに気持ちよくお風呂に入っていただきたい」という思いから、座ったまま入浴できる介護浴槽を購入しました。これは、「入浴時に寝たままの姿を見られるのは恥ずかしい」という声から生まれた入浴スタイル。主に入浴動作や座位の保持が出来ない方でも安全に入浴できるように要介護度が高い方に使用しています。浴槽の壁が開き専用の車イスごと入浴する仕組みとなっており、イスが上下しないため安定感があり安心して使用できます。いままで、ゆったりとお風呂に入ることのできなかつた方々にとっても喜んでいただいております。



## 利用者様のために





## 利用者様のために

### 排泄ケア 〈排泄ケアの大切さを考え、積極的な取り組みを行っています〉

ユニ・チャーム メンリック株式会社のアドバイザー森田さんにお話をうかがいました。排泄ケアは、同時に心のケアをしながらかける方の尊厳やプライドを傷つけないよう心がけなければならないと考えています。

食事・入浴・排泄は、介護の3大要素であり、最も人間の尊厳に関わるとされているのが、排泄ケア（コンチネンスケア）です。排泄ケアは「心のケア」ともいわれ、失禁はプライドや羞恥心に関わり、生きる意欲にまでも影響を与えます。私たちはコンチネンスケアの正しい知識を備え、介護スタッフの皆様と一緒に、利用者様のQuality Of Life（生活の質）を向上させられるような提案をしていきます。

私たちの取り扱う排泄ケア製品「テナ」は、福祉先進国と言われているスウェーデンの考え方を取り入れて開発されたブランドです。商品の特徴は、今までの下着と同じようなつけ心地。私達の下着も、赤ちゃんのおむつも1枚で形成されていますが、大人のおむつの場合、アウターの中にパッドを入れてそのパッドを交換するという方法が多くなっています。

「テナ」では、できるだけ下着に近いつけ心地を目指して1枚形成のスタイルをご提案しております。つけ心地ということはもちろんですが、使われる方

避難所開設訓練時に排泄ケアについて講演される森田さん



の尊厳を大切にするためにできるだけ下着に近いもので今まで通りの生活を続けていただきたいという思いがあるからです。利用される方に快適なつけ心地を提供するために、それをサポートする施設スタッフの方々に対して勉強会やワークショップを行い、排便ケアのアセスメントを行っています。まずは、排泄委員を設置し、排泄ケアの仕方を標準化することでスタッフ全員が同じケアをできるようにしていく。そのあとはさらに一歩進んで個別ケアを行います。その成果をセミナーやフォーラムでの発表などを行うことで、スタッフの方々のやりがいにもつながっていただくと考えています。



ユニ・チャーム メンリック株式会社の商品

### 口腔ケア 〈健康寿命を伸ばすために、口腔ケアに力を入れています〉

お口のケアをすることで病気の予防ができるだけでなく、口腔と咽頭を適切に刺激することで、からだ全体を活発にすることができるといわれています。ぼ一愛でも入所されている利用者様に積極的な口腔ケアを行っています。スタッフに対しても月に一度の歯科医師による勉強会やマニュアルの指導により、口腔ケアの重要性を理解し施設内全体で口腔ケアの質を高めています。利用者様に対しては、週一回行われる訪問診療を踏まえてその方に合ったケア方法を歯科医師から指導していただき、口腔ケアマニュアルを作成。どんなブラシや器具を使って、どんなケアをすればよいのか、その情報をスタッフで共有することでケアの継続と向上に努めています。



### 偲ぶ会 〈故人を偲ぶ会を行いました〉

ぼ一愛では、毎年何人もの方々を最期までお見送りさせていただいております。今回はその家族様4組5名の方に参加していただきました。ぼ一愛で過ごしていただいた日々を写真や動画で振り返りながら、まるでホームカミングデーのように故人の思い出を懐かしく思い出しながら楽しい時間を過ごすことができました。

近年、当施設で看取りまでを希望されるご家族様が多くいらっしゃいます。私達も本人や家族様の気持ちに寄り添いながら最期まで心を入れてお見送りさせていただけるよう、これからも精一杯対応させていただきます。これからも精一杯対応させていただきます。



## 職員のために

### スタッフ紹介 〈新しいぼ一愛スタッフです。よろしくお願ひします。〉

#### 介護職員 森脇 恵さん

介護関係の仕事をはじめ15年、介護福祉士の資格を取得して12年になります。以前は、病棟専門の介護やデイサービス職員などをしていました。ぼ一愛では2Fフロアの介護を担当しています。利用者様の笑顔に励まされながら仕事ができることに日々感謝をしています。

- 資格 介護福祉士
- 介護職を選んだ理由 将来、親の介護をしたい
- 今後の目標 ショートステイ利用者様がまた来て貰えるような雰囲気作りをしていきたい
- 休日、何をしていますか 美術館や博物館めぐり



#### 介護職員 ホワン・ティ・ニユンさん

ベトナムのハナム市出身です。ベトナムで看護師資格を取得し日本へ来て3年になります。ぼ一愛でお世話になって6ヶ月が過ぎました。スタッフや入所者様とのコミュニケーションは、難しいですが勉強になる事も多いです。日本の介護技術や考え方をしっかりと吸収していろいろなことを学んでいきたいと思っています。

- 日本の印象は 交通が便利、景色が綺麗な所が多い
- 仕事で大変な事は 利用者様、スタッフとの会話が難しい申し送り、アクシデントの記録を書くのが難しいが利用者様が日本語を覚えて下さる
- 今後の目標 3年間、日本語を学びN2（日本語能力試験で新聞や雑誌の記事を読んで日本語が理解できるか、ニュースを聞いて内容が理解出来るかなど）を取得する事
- 休日、何をしていますか 友人と神戸、京都、大阪を散策しています これからも、日本の文化を学んでいきたい



#### 介護職員 長瀬 紗織さん

介護老人福祉施設や一般病院で介護助手として11年働いていました。ぼ一愛では3Fフロアで介護をしています。動物も大好きですので、施設内を楽しそうに歩き回る「ラブ」ちゃんにはいつも癒やされています。私も利用者様たちにとって、心やすまる存在になりたいと思っています。

- 資格 介護福祉士
- 介護職を選んだ理由 叔母が介護の仕事をしていて将来ずっと働いて行けると思ったから
- 今後の目標 利用者様とコミュニケーションを取っていきたい
- 休日、何をしていますか 動物保護のボランティアをしているとき



#### ケアーン・テリア ラブ

名前 ラブ(オス)  
犬種 ケアーン・テリア  
生年月日 平成24.6.23  
令和元年 6月 7歳になりました。  
体重 9kg(ちよっと太り気味)

食べる事大好きです!  
只今、ダイエット頑張ってます。



### なぜ減らない身体拘束 〈明倫グループがNHKの取材を受けました〉

「身体拘束は何故無くならないのか」先日NHKのクローズアップ現代で同グループである医療法人が取材を受け、放映されました。拘束帯を使いベッドに縛り付ける光景はひと昔前の病院では点滴中や夜間帯などでよく見られる光景でした。しかし、現在では治療目的であっても患者様や利用者様の尊厳を守る事を第一に拘束を廃止する動きになっています。それでもなお拘束が減らないのは高齢者、特に認知症の患者の増加と言われています。介護施設では厳しい罰則規定もあり、身体拘束

廃止委員会を設置し拘束にあたる介護行為はないかを検証しています。何よりも医療介護行為の工夫が大切です。ユマニチュードの第一人者であるイヴ・ジネストさんが来院され直接指導を受ける機会がありました。講演会は尊厳を大切にしたいに溢れていました。ユマニチュードの意味である「人間らしさ」「人間らしさを取り戻す」その言葉の通り私達の施設で実践し拘束ゼロを根付かせたいと思います。

施設長 梶原信子



### 介護技術指導セミナー 〈福祉アドバイザーによる講習会を受講しました〉

ぼ一愛ではスタッフの介護技術向上を目的として、スタッフ一人一人のスキルに合わせて介護技術指導を受講しています。入所様に対する対応、言葉遣いなどから、排泄ケアや入浴、歩行介助などの技術的な方法まで、マンツーマンで福祉アドバイザーの谷本規子先生に指導いただき、その後座学を行います。今回のテーマは「利用者様の尊厳を支えるケアについて」介護職員に求められるものについて参加者全員でディスカッションを行いました。今後も家族様、利用者様に気持ちよく過ごしていただけるようスタッフのスキルアップを目指します。

